

## 一般選抜における出題ミスの報告

愛知東邦大学

2025年及び2024年に実施いたしました愛知東邦大学一般選抜において、5件の出題ミスがあったことが判明いたしました。2026年度入試の試験問題を作成する過程で、過去の入試問題を確認したところ、出題ミスが判明いたしました。

これを受けて学内にて慎重に検討した結果、以下に報告する通り採点上の措置を決定し、改めて採点及び合否判定をやり直すことにしました。結果として受験生の合否への影響はありませんでした。

本学はこの事実を厳粛に受け止め、受験生ならびに関係各位に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、再発防止に向けて全学をあげて取り組むとともに、本件の概要と対応について以下の通り報告いたします。

また、今後の対応策として、今回の事態を重く受け止め、原因を究明し、試験問題の作成から最終確認に至るまでの過程を再構築いたします。その上で、確認体制の強化と対策を徹底するとともに、再発防止に努めて参ります。

〔ケース a〕

入試方法・区分：	2025年度一般選抜中期日程D方式
試験実施年月日：	2025年2月23日
試験科目：	数学
対象学部等：	経営学部、人間健康学部、教育学部
当該科目の受験者数：	3人
出題ミスの内容：	大問1(4)において、以下の通り解答欄に脱字（「+」記号）があり、正答を導けない設問となっていました。 $\boxed{D}\boxed{ケ}+\boxed{コ}\sqrt{\boxed{サ}}$ の「+」が抜けていました。
ミスのあった設問：	$1+\sqrt{7}$ の整数部分を $a$ 、小数部分を $b$ とするとき、 $ab$ の値を求めよ。
採点上の措置：	当該問題については全員正解として扱います。

## 〔ケース b〕

入試方法・区分：	2025 年度一般選抜後期日程 E 方式
試験実施年月日：	2025 年 3 月 8 日
試験科目：	政治・経済
対象学部等：	経営学部、人間健康学部、教育学部
当該科目の受験者数：	2 人
出題ミスの内容：	大問 3 問 5 において、選択肢③を正解として想定していましたが、選択肢①で「暖まった地表面は熱を赤外線として放射するが」と記載すべきところを誤って「暖まった地表面は熱を赤外線として <u>宇宙空間へ放射するが</u> 」と記載してしまい、選択肢②で「 <u>二酸化炭素やメタンガスなどの存在によって</u> 」と記載すべきところを誤って「 <u>二酸化炭素やメタンガスなどが増加しているため</u> 」と記載してしまったため、選択肢①及び選択肢②も正答となる設問となっていました。
ミスのあった設問：	問 5 下線部(4)「温室効果ガス」の説明として誤っているものを、次の①～④の中から 1 つ選べ。 ① 太陽の光は地球の大気を通過し地表面を暖める。暖まった地表面は熱を赤外線として宇宙空間へ放射するが、熱の一部を吸収する性質をもったガスを温室効果ガスという。 ② 二酸化炭素やメタンガスなどが増加しているため、温室効果が生まれる。 ③ 気候変動に関する諸問題を科学的に分析し、各国政府に情報提供する機関を IAEA という。 ④ 温室効果ガスの濃度が増加して温室効果が高まると、海面水位の上昇などの被害が起こる。
採点上の措置：	当該問題については三つとも正解として扱います。

〔ケース c〕

入試方法・区分：	2025 年度一般選抜後期日程 F 方式
試験実施年月日：	2025 年 3 月 9 日
試験科目：	世界史探究
対象学部等：	経営学部、人間健康学部、教育学部
当該科目の受験者数：	受験者なし
出題ミスの内容：	<p>大問 3 問 1 において、以下の〔2〕に入る語句を選択させる設問で選択肢①を正解として想定していましたが、問題の前提条件の設定が不十分であったため、正答を導けない設問となっていました。</p> <p>「騎馬遊牧民は、〔1〕を基盤とした部族を形成し、時には強力な指導者のもとで遊牧国家を築いた。〔2〕製の馬具や武器を使用していた彼らは、前 9 世紀から前 8 世紀にかけて勢力を拡大した。」</p>
ミスのあった設問：	<p>騎馬遊牧民は、〔1〕を基盤とした部族を形成し、時には強力な指導者のもとで遊牧国家を築いた。〔2〕製の馬具や武器を使用していた彼らは、前 9 世紀から前 8 世紀にかけて勢力を拡大した。</p> <p>問 1 〔1〕～〔8〕に入る最も適切な語句を、それぞれ①～④の中から 1 つずつ選べ。</p> <p>〔2〕</p> <p>① 青銅 ② 鉄 ③ 木 ④ 銅</p>
採点上の措置：	当該問題については全員正解として扱います。

## 〔ケース d〕

入試方法・区分：	2025 年度一般選抜後期日程 F 方式
試験実施年月日：	2025 年 3 月 9 日
試験科目：	政治・経済
対象学部等：	経営学部、人間健康学部、教育学部
当該科目の受験者数：	6 人
出題ミスの内容：	大問 1 問 5 において、選択肢①を正解として想定していましたが、選択肢①で「この協定に調印した時の日本の内閣総理大臣は佐藤栄作である。」と記載すべきところを誤って「この協定に調印したのは当時の佐藤栄作内閣総理大臣である。」と記載してしまったため、正答が存在しない設問となっていました。
ミスのあった設問：	問 5 下線部(4)に関連して、以下の説明の中で最も適切なものを、次の①～④の中から 1 つ選べ。 ① この協定に調印したのは当時の佐藤栄作内閣総理大臣である。 ② この協定に調印した米国の大統領はローズヴェルト大統領である。 ③ 現在、沖縄にある米軍の普天間基地は宮古島への移設工事が進められている。 ④ 沖縄で展開する米軍の主力は陸軍である。
採点上の措置：	当該問題については全員正解として扱います。

## 〔ケース e〕

入試方法・区分：	2024 年度一般選抜後期日程 F 方式
試験実施年月日：	2024 年 3 月 10 日
試験科目：	政治・経済
対象学部等：	経営学部、人間健康学部、教育学部
当該科目の受験者数：	2 人
出題ミスの内容：	大問 3 問 5 において、選択肢③を正解として想定していましたが、選択肢①で「暖まった地表面は熱を赤外線として放射するが」と記載すべきところを誤って「暖まった地表面は熱を赤外線として <u>宇宙空間へ放射するが</u> 」と記載してしまい、選択肢②で「 <u>二酸化炭素やメタンガスなどの存在によって</u> 」と記載すべきところを誤って「 <u>二酸化炭素やメタンガスなどが増加しているため</u> 」と記載してしまっただため、選択肢①及び選択肢②も正答となる設問となっていました。
ミスのあった設問：	問 5 下線部(4)「温室効果ガス」の説明として誤っているものを、次の①～④の中から 1 つ選べ。 ① 太陽の光は地球の大気を通過し地表面を暖める。暖まった地表面は熱を赤外線として宇宙空間へ放射するが、熱の一部を吸収する性質をもったガスを温室効果ガスという。 ② 二酸化炭素やメタンガスなどが増加しているため、温室効果が生まれる。 ③ 気候変動に関する諸問題を科学的に分析し、各国政府に情報提供する機関を IAEA という。 ④ 温室効果ガスの濃度が増加して温室効果が高まると、海面水位の上昇などの被害が起こる。
採点上の措置：	当該問題については三つとも正解として扱います。

※ケース e はケース b と同一の問題です。

以上